

エフエムふじごこ 第30回番組審議委員会議事録

1. 開催日時 令和5年10月26日(木曜日) 18:00~19:00

2. 開催場所 (株)CATV 富士五湖 2F 会議室

3. 委員出席 番組審議委員総数 13名 出席委員数 4名

出席委員の氏名

望月 勉、飯島 武、宮下美穂、小佐野あずさ

欠席委員の氏名

小野政秋、半田初幸、田辺将之、渡辺忠男、小俣 厚、武藤里美、
工藤津菜美、宗形和子、渡辺千重子

放送事業者側出席者名

武川以爾身、武川哲也、堀口美智幸

4. 議 題
- 1) 番組視聴状況について
 - 2) 防災放送の対応について
 - 3) その他要望事項等

5. 議事の概要

今回は、担当者より年2回、発行しているFMふじごこのタイムテーブルを主体としたパンフレットを発刊した報告、パーソナリティの採用方法について、また、冬の時期を迎えるにあたり、大雪を想定した事前の災害対策に関連した放送の在り方などについて意見を求めた。

6. 審議内容

FMふじごこの広告収入のひとつとして番組周知のパンフレットを4月と10月に発行している旨の報告。

コミュニティFMは地域の災害情報の発信という考えを常に意識しながら行動することが大切なことなので委員のみなさんに災害放送のスタンスについて再確認を行った。

- 1) FMふじごこのパンフレットについて

- ・ F Mふじごこの番組周知のパンフレットは、数十社から広告費をいただき、4月と10月に内容を更新して発行している旨の説明を行った。
パンフレットは、スポンサーを始め、放送エリア内の公共施設、金融機関、観光地の観光施設などに配布したり、地域の行事やイベントなどに出向いて直接、来場者に配布するなどして、多くの方に周知する努力を行っている。

2) Radimo の利用状況

コミュニティ F Mは、地域の防災情報の発信を主体としている中で、防災の情報を取得する方法として4月から Radimo のアプリの運用が開始されている。

- ・多くの委員が Radimo のアプリを導入していただいている現状である。
- ・ Radimo では、富士吉田市が発信する防災行政放送の防災に関連する情報をプッシュ通知で知らせる仕組みになっているので「いざ！」という時に威力を発揮することに関心を寄せている。
- ・ラジオ放送は、通常、放送エリア内での聴取が基本となるが、Radimo では、放送エリア内にとらわれず、放送エリア外で聴取できるので自宅にいなくても地域の情報が常に確認できるので心強いとの意見をいただいた。
また、実際に観光地に旅行に行った際に Radimo で F Mふじごこの放送を聴取したときに、リアルタイムで地元の情報を聴取でき、安堵したという感想があった。

3) パーソナリティについての意見

- ・パーソナリティの確保について、企業や行政と連携して、社員や職員をラジオのパーソナリティとして派遣してもらい、企業の宣伝や、地域のイベント・行事などの情報を発信してもらおうということを検討していただきたいとの意見があった。
担当者から実現させるための課題などを検討する必要があるとの回答。

4) その他ご意見

- ・ F Mふじごこ主催によるイベントなどの計画はありますか。

【回答】

来期が開局 10 周年になるので、ひとつの節目として前向きに検討していると説明。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

特になし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 ①自社番組内において放送

②事務所への備置き

③自社ホームページへの掲載 (<https://www.fm2255.jp/>)

公表の内容 番組審議委員会翌日の自社番組内において、ニュース形式で開催と簡単な内容を伝え、詳細な内容についてはホームページへの掲載を告知した。

以上